

令和8年度 第1回岡山県入札・契約適正化委員会 議事概要

開催日時・場所	令和8年8月4日（火）13:30～15:45 ピュアリティまきび 飛翔		
出席委員	高橋 正徳（元岡山大学准教授）：委員長、 石田 麻衣（弁護士）、山崎 健一郎（弁護士）、上田 恭嗣（建築士）、 濱田 博英（公認会計士）、 以上5名 出席		
議事内容	審議対象期間：令和7年10月1日～令和8年3月31日		
1 談合情報の取扱状況について	審議対象期間の談合情報について、該当がなかった旨を報告した。		
2 指名停止の状況について	令和7年度下半期指名停止の状況を報告した。		
	指名停止理由（指名停止等要領該当条項）		件数
	県以外発注工事に係る工事関係者の死傷（2号）		2件
	県発注工事に係る請負契約違反（3号）		4件
	建設関係法令に基づく行政処分（4号）		1件
	反社会的行為による逮捕（8号）		1件
	独占禁止法違反（12号）		1件
	合 計		9件
3 抽出事案の説明及び審議	県の発注工事の中から委員が事前に抽出した5件について、発注部局からの説明の後、委員による審議を行った結果、適正に入札・契約がなされているものと判断された。		
工 事 名	入 札 方 式	契約金額 (千円：税込)	発 注 機 関
公共 砂防工事 （堰堤工）	一般競争入札 （総合評価方式）	77,990	備中県民局建設部 井笠地域工務課
単県 河川工事 （管理用道路工）	一般競争入札 （条件付）	31,350	備中県民局建設部 井笠地域工務課
公共 ダム工事 （観測計測設備更新）	一般競争入札 （総合評価方式）	139,260	備中県民局 高梁川ダム統合管理事務所
公共 漁港工事 （防波堤基礎工）	指名競争入札	35,420	備中県民局建設部 井笠地域工務課
旭川第一発電所 2号水車発電機 分解点検補修等工事	一般競争入札 （総合評価方式）	687,500	企業局
4 委員からの意見・質問、その回答	次のとおり		
5 委員会による意見の具申又は勧告	なし		

委員からの意見・質問、それに対する回答等

議事の概要／各委員の質問・意見	回 答 概 要 な ど
1 談合情報の取扱状況について 意見等、特になし	
2 指名停止の状況について ・工事関係者の死亡事故で指名停止期間を1か月としているが短くはないか。	・指名停止期間については、基準に従って決定しているところである。
3 抽出事案の説明及び審議	
①土木部：公共 砂防工事（堰堤工）	
井原市における一般競争入札（条件付）の土木一式工事において、高入札の土木一式工事が多くみられている。この中で総合評価方式による高い落札率99.7%の砂防工事を抽出した。	
・落札者以外で、入札金額が2者ずつ同額のものがあるが、このようなことはよくあるのか。	・入札参加者が入札金額をどのような考え方で決定しているかの確認はできないが、工事場所の地理的要件や工事内容、施工規模、手持ち工事の状況、資材の確保、運搬の方法、利益率などを考慮して総合的に検討を行い決定していると考えている。
・以前に工事がなされた施設の補修工事であるが、落札者はそのときと同じ業者なのか。	・相当昔の工事であり、以前の工事に関する資料を持ち合わせておらず分かりかねるが、今回の工事は以前の工事の継続工事ではない。
・予定価格はどのように決めているのか。見積もりを取っているのか。	・予定価格については、国が定める積算基準や機材の労務単価など一般に公表されているものや、建設物価調査会で調査をした単価を使用して積算しており、基本的に見積もりは取っていない。
②土木部：単県 河川工事（管理用道路工）	
小田郡矢掛町における一般競争入札（条件付）の土木一式工事において、高入札の河川工事が多くみられている。この中で応札業者が多い中、一者が一連の河川工事を高い落札率で連続して落札している。この中でも高い落札率99.0%の河川工事（管理用道路工）を抽出した。	
・同じような入札金額が並んでいるが、比較的簡単な工事では類似した積算結果になるのか。	・本件工事は比較的簡単な内容であり、県の積算価格は算定しやすいと思われる。
・予定価格を超えて応札している業者は受注意欲がないのか、材料費等の超過によるものか。	・業者の積算の誤りや材料費等を実行予算に合わせた結果により予定価格を超過した可能性はあるが、業者に確認しないため分かりかねる。
③土木部：公共 ダム工事（観測計測設備更新）	
電気通信工事における一般競争入札（条件付）において、高入札の公共ダム工事（観測計測設備更新）が、一社による総合評価方式で落	

札され、落札率が100%であることから抽出した。	
・入札参加者が1者であるが、岡山県内で応札できる業者は限定されているのか。また、想定されていたのか意外だったか。	・本件工事の入札参加資格を有する者は、コリンズで検索し全国で100社以上、県内の入札に参加した業者も関連会社を含め20社以上が該当することを確認しており、入札参加者が1者であったことは意外である。
・工事の内容に機器類が多くあるが、どのようにして積算しているのか。	・本件工事では、特殊な機器も多いが建設物価調査会で調査をした単価を使用して積算している。
・当該設備の保守業者と今回の落札業者は別か。	・別である。
・入札参加者が1者だと落札率が高く、2者以上だと低くなる傾向にあると思うが、事前に業者は他に応札者がいるかどうか分かっているのか。	・入札参加者の公表は入札後である。
④農林水産部（土木部発注）：公共 漁港工事（防波堤基礎工）	
浅口市寄島町における指名競争入札の土木一式工事における公共港湾工事(防波堤基礎工事)で、複数の応札業者の中、1者が一連の工事を高い落札率で連続して落札していることから抽出した。	
・入札参加者が3者、辞退した者が3者であるが、それぞれの格付を教えてください。	・入札参加者3者は全てAランクで、辞退した3者はAランクが1者、Bランクが1者、Cランクが1者である。
・特定の業者に有利になっているのではないかと憶測できることはあるか。	・憶測の範囲ではあるが、本件工事は関係者との調整や施工管理、施工計画などにおいて難易度が高い面があると思われるため、そういった点で結果的に有利になる業者はあるかもしれない。
・6者中3者が辞退しているが、関係者との調整の何が難しいのか。また、改善できることはないのか。	・実際の施工にあたり業者が行っている具体的な調整については分かりかねる。なお、県においても事前に関係者と調整を行っているところである。
⑤企業局：旭川第一発電所 2号水車発電機 分解点検補修等工事	
企業局における一般競争入札(条件付)において、100%の高落札率の工事が複数みられている。この中で総合評価方式による落札率100%の電気工事を抽出した。	
・第1回の入札で予定価格を超過し第2回の入札で予定価格の範囲におさまっているが考えられることはあるか。 また、1回目と2回目の入札の期間はどれくらいとっているのか。	・1回目は業者の希望価格、2回目は積算をやり直して価格を下げたものと憶測する。県が業者と交渉することはない。 また、第1回の入札は10時以降に、第2回の入札は同日の16時以降に行っている。
・第2回の入札で予定価格を超過するとどうなるのか。	・入札不調となる。

・入札参加者が少ないということは、施工可能な業者が少ないということか。	・発電機の分解点検補修工事については、発電所の点検の際にカスタマイズされていることもあり特殊性が高いものになるため、他の業者にできないというわけではないが、特定の業者がやりやすい状況になるとは思われる。
・（意見）入札参加者が多いと落札率は下がる傾向にあり、発電所を作る段階で何か工夫が出来たらいいと思う。	
・予定価格の積算は見積もりを取って行っているのか。	・積算基準がないため、見積もりを取って積算をしている。5社に見積もりを依頼し、今回の入札参加者1者から回答があった。
・見積もりの依頼に回答するかしないかの理由に推測できることはあるか。	・既存の施設が自社の設備ではないことや、本件工事について技術者を配置できないなどの理由で辞退されたのではないかと推測する。
・価格競争や低い金額での契約、公平性の担保などの仕組みを作るような工夫は他の事案も含めてあるか。	・できるだけ安く発注したいという思いはあり、工期を長めに設定し技術者の確保をしやすくするなど、入札参加してもらえそうな工夫を行っているところである。
・総合評価方式を適用するとある程度業者が限定されてくると思う。建築工事だと落札率90%程度だが、土木工事だと100%になるものが目に付くが、岡山県特有の事情があるのか。	・他県の状況はわからないが、本件工事の旭川発電所は概ね1万キロワット規模の発電所になるためオーダーメイドで部品などを作っていくことになる。他社が参入した際に保証の問題などが生じることもあり手を出しにくいという面があると考えられる。
4 その他	
意見等、特になし	